



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL <http://www.fumakilla.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小谷 眞弘 TEL 0829-55-2112
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第1四半期 | 10,605 | 24.0 | 1,335 | 18.0 | 1,338 | 21.5 | 739 | 17.5 |
| 25年3月期第1四半期 | 8,549 | △8.6 | 1,131 | △14.0 | 1,101 | △15.7 | 629 | △10.8 |

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,235百万円 (104.9%) 25年3月期第1四半期 603百万円 (△30.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第1四半期 | 22.52 | — |
| 25年3月期第1四半期 | 19.16 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年3月期第1四半期 | 28,079 | 10,196 | 30.7 | 262.75 |
| 25年3月期 | 27,315 | 9,108 | 27.6 | 229.98 |

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 8,628百万円 25年3月期 7,552百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | — | — | 5.00 | 5.00 |
| 26年3月期 | — | — | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 17,700 | 32.7 | 1,390 | 75.9 | 1,390 | 85.9 | 770 | 97.2 | 23.45 |
| 通期 | 29,000 | 28.6 | 770 | — | 760 | — | 260 | 82.7 | 7.92 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年3月期1Q | 32,980,000株 | 25年3月期 | 32,980,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期1Q | 141,462株 | 25年3月期 | 140,228株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年3月期1Q | 32,838,856株 | 25年3月期1Q | 32,842,014株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 5. 補足情報 | 10 |
| (1) 販売実績 | 10 |
| (2) 海外売上高 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

| 指標等 | 25年3月期 第1四半期累計 | 26年3月期 第1四半期累計 | 増減額 | 増減率 (%) |
|-------------|-------------------|-------------------|-------|---------|
| 売上高 | 8,549 | 10,605 | 2,055 | 24.0 |
| 営業利益 | 1,131 | 1,335 | 203 | 18.0 |
| 経常利益 | 1,101 | 1,338 | 237 | 21.5 |
| 四半期純利益 | 629 | 739 | 110 | 17.5 |
| 1株当たり四半期純利益 | 19円 16銭 | 22円 52銭 | | |

(当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融緩和による円安・株高の進行など景気回復への期待が高まる一方で、欧州の景気低迷など海外経済が依然として不安定であること、また円安に伴う材料価格の高騰などの懸念材料があり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、経営理念である「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」の精神のもとに、コア事業の殺虫剤・家庭用品・園芸用品の成長カテゴリー市場を牽引する新価値創造商品を積極的に投入し、既存事業の強化を図るとともに、販売効率の向上・在庫削減・コストダウン等への取り組みによる収益力強化、及び海外事業の拡大強化等の課題に努めてまいりました。

国内売上につきましては、主力の殺虫剤の売上が好調に推移し、また家庭用品、園芸用品についても前年を上回ったことにより、国内合計では前年同期比7.6%増の78億58百万円となりました。一方、海外売上については、既存の海外子会社の売上が好調に推移したことと、2012年11月に子会社化したフマキラーアジアグループの業績を取り込んだことにより、円貨ベースでは前年同期比120.7%増の27億46百万円（為替変動の影響を除くと109.4%増）となりました。その結果、売上高は前年同期比24.0%増の106億5百万円（為替変動の影響を除くと22.4%増）となりました。

売上原価は、前年同期より13億62百万円増加し67億9百万円となりました。売上原価率は63.3%で、前年同期より0.7ポイント増となりました。

これらの結果、売上総利益は38億96百万円（前年同期比21.6%増）となり、返品調整引当金繰入後の差引売上総利益は36億12百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては経費の効率的な運用及び見直しを行いました。連結子会社が増えたことにより、前年同期比23.5%増の22億77百万円となりました。これらの結果、営業利益は13億35百万円（前年同期比18.0%増）、経常利益は13億38百万円（前年同期比21.5%増）、四半期純利益は7億39百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

なお、当社グループは、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は上半期を中心に多く計上されるという季節変動要因をかかえております。一方、人件費や諸経費（広告宣伝費のような政策費を除く）は固定費として、年間を通じてほぼ均等に発生するため、事業年度の四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

| | 25年3月期 第1四半期累計 | 26年3月期 第1四半期累計 | 増減額 | 増減率 (%) |
|------|-------------------|-------------------|-------|---------|
| 殺虫剤 | 7,155 | 8,780 | 1,625 | 22.7 |
| 家庭用品 | △65 | 212 | 277 | — |
| 園芸用品 | 692 | 833 | 140 | 20.2 |
| 防疫剤 | 400 | 407 | 6 | 1.7 |
| その他 | 366 | 372 | 6 | 1.7 |
| 合計 | 8,549 | 10,605 | 2,055 | 24.0 |

殺虫剤部門につきましては、国内で需要が拡大している成長カテゴリー市場に、ワンタッチ式の次世代蚊取り「おすだけベープ クリスタ」、不快害虫用製品「虫よけバリア 玄関用」、「虫よけバリア クルマ用」を上市し、さらに殺虫成分ゼロでゴキブリを凍らせて止める「ゴキブリ凍止ジェット」等の新製品を投入した結果、これらの新製品が売上に寄与し、殺虫剤全体の売上が好調に推移しました。一方、海外におきましては、P. T. FUMAKILLA INDONESIAや他の既存海外子会社の売上が現地通貨ベース、円貨ベースのいずれも伸長し、また昨年10月に子会社化を行ったFumakilla Asia Sdn. Bhd. 及びPT Technopina Jakartaの売上を取り込んだ結果、国内及び海外の殺虫剤合計の連結売上高は前年同期比22.7%増の87億80百万円（前年同期比16億25百万円増）となりました。

家庭用品部門につきましては、主力のアルコール除菌剤が好調に推移したことと、花粉関連商品の返品削減に努めた結果、直前期に販売した花粉関連商品の返品が前期と比較すると大幅に減ったことにより、家庭用品合計の売上高は2億12百万円（前年同期比2億77百万円増）となりました。

園芸用品部門につきましては、殺虫殺菌剤や除草剤に新製品を投入した結果、売上が好調に推移し、園芸用品合計の売上高は前年同期比20.2%増の8億33百万円（前年同期比1億40百万円増）となりました。

防疫剤部門は4億7百万円（前年同期比6百万円増、1.7%増）、その他の部門は3億72百万円（前年同期比6百万円増、1.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて7億64百万円増加し、280億79百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が6億34百万円、繰延税金資産の増加等によるその他流動資産が5億38百万円増加した一方で、商品及び製品が4億64百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて3億22百万円減少し、178億83百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が3億33百万円、電子記録債務が15億32百万円、未払法人税等が8億32百万円、売上割戻引当金が6億1百万円、未払金の増加等によるその他流動負債が3億92百万円増加した一方で、短期借入金41億77百万円が減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて10億87百万円増加し101億96百万円となりました。なお自己資本比率は3.1ポイント増加し30.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては平成25年5月10日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,521,798 | 2,621,374 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,063,093 | 8,697,402 |
| 電子記録債権 | 1,003 | 65,259 |
| 商品及び製品 | 3,499,447 | 3,035,252 |
| 仕掛品 | 633,002 | 417,940 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,451,057 | 1,338,253 |
| その他 | 872,020 | 1,410,020 |
| 貸倒引当金 | △1,419 | △1,571 |
| 流動資産合計 | 17,040,002 | 17,583,932 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,095,408 | 2,263,846 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,148,573 | 1,155,191 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 199,581 | 184,136 |
| 土地 | 704,865 | 711,702 |
| リース資産(純額) | 31,365 | 70,459 |
| 建設仮勘定 | 54,774 | 38,984 |
| 有形固定資産合計 | 4,234,568 | 4,424,322 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,203,612 | 1,253,350 |
| 商標権 | 1,189,543 | 1,260,728 |
| その他 | 615,277 | 542,057 |
| 無形固定資産合計 | 3,008,432 | 3,056,136 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,807,006 | 2,862,964 |
| その他 | 363,108 | 309,436 |
| 貸倒引当金 | △138,557 | △157,189 |
| 投資その他の資産合計 | 3,031,557 | 3,015,212 |
| 固定資産合計 | 10,274,558 | 10,495,670 |
| 繰延資産 | | |
| 株式交付費 | 674 | — |
| 繰延資産合計 | 674 | — |
| 資産合計 | 27,315,235 | 28,079,603 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,703,078 | 3,036,969 |
| 電子記録債務 | 923,409 | 2,455,922 |
| 短期借入金 | 7,766,716 | 3,588,957 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 250,000 | 250,000 |
| リース債務 | 7,515 | 19,402 |
| 未払法人税等 | 61,872 | 894,168 |
| 賞与引当金 | 236,678 | 111,549 |
| 売上割戻引当金 | 58,166 | 659,242 |
| 返品調整引当金 | 459,881 | 739,477 |
| その他 | 1,883,891 | 2,276,570 |
| 流動負債合計 | 14,351,210 | 14,032,260 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,250,971 | 2,187,500 |
| リース債務 | 23,850 | 40,122 |
| 退職給付引当金 | 398,972 | 409,723 |
| 役員退職慰労引当金 | 455,219 | 412,825 |
| 資産除去債務 | 8,658 | 8,699 |
| その他 | 717,538 | 792,295 |
| 固定負債合計 | 3,855,210 | 3,851,166 |
| 負債合計 | 18,206,420 | 17,883,427 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,698,680 | 3,698,680 |
| 資本剰余金 | 2,105,770 | 2,105,771 |
| 利益剰余金 | 1,511,956 | 2,087,270 |
| 自己株式 | △41,464 | △41,837 |
| 株主資本合計 | 7,274,941 | 7,849,883 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 352,526 | 402,191 |
| 為替換算調整勘定 | △75,026 | 376,121 |
| その他の包括利益累計額合計 | 277,500 | 778,313 |
| 少数株主持分 | 1,556,372 | 1,567,978 |
| 純資産合計 | 9,108,814 | 10,196,176 |
| 負債純資産合計 | 27,315,235 | 28,079,603 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 8,549,568 | 10,605,187 |
| 売上原価 | 5,346,489 | 6,709,005 |
| 売上総利益 | 3,203,079 | 3,896,182 |
| 返品調整引当金戻入額 | 213,155 | 180,518 |
| 返品調整引当金繰入額 | 441,797 | 464,297 |
| 差引売上総利益 | 2,974,436 | 3,612,403 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,843,209 | 2,277,217 |
| 営業利益 | 1,131,227 | 1,335,186 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,268 | 2,181 |
| 受取配当金 | 28,620 | 28,945 |
| その他 | 24,733 | 36,653 |
| 営業外収益合計 | 55,621 | 67,780 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12,614 | 30,187 |
| 売上割引 | 36,338 | 28,231 |
| その他 | 36,048 | 5,647 |
| 営業外費用合計 | 85,000 | 64,067 |
| 経常利益 | 1,101,847 | 1,338,899 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1,494 |
| 負ののれん発生益 | 1,464 | — |
| 特別利益合計 | 1,464 | 1,494 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 138 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 14,760 | — |
| 特別損失合計 | 14,898 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,088,413 | 1,340,393 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 608,348 | 924,338 |
| 法人税等調整額 | △173,778 | △315,174 |
| 法人税等合計 | 434,570 | 609,163 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 653,842 | 731,230 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 24,507 | △8,282 |
| 四半期純利益 | 629,335 | 739,512 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 653,842 | 731,230 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △109,273 | 49,665 |
| 為替換算調整勘定 | 58,705 | 455,013 |
| その他の包括利益合計 | △50,568 | 504,679 |
| 四半期包括利益 | 603,274 | 1,235,909 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 570,645 | 1,240,326 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 32,629 | △4,416 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、園芸用品、家庭用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されております。

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | その他(注) (千円) | 合計 (千円) |
|-------------------|------------|---------------|-----------|----------------|------------|
| | 日本 (千円) | 東南アジア (千円) | 計 (千円) | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 7,500,090 | 970,612 | 8,470,703 | 78,865 | 8,549,568 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 196,221 | 186,561 | 382,783 | — | 382,783 |
| 計 | 7,696,312 | 1,157,174 | 8,853,486 | 78,865 | 8,932,351 |
| セグメント利益又は損失(△) | 985,965 | 117,435 | 1,103,401 | △5,906 | 1,097,494 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

| 利 益 | 金 額 (千円) |
|-----------------|-------------|
| 報告セグメント計 | 1,103,401 |
| 「その他」の区分の損失 | △5,906 |
| セグメント間取引消去 | 34,151 |
| その他の調整額 | △418 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,131,227 |

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | その他（注） （千円） | 合計 （千円） |
|-------------------|------------|---------------|------------|----------------|------------|
| | 日本 （千円） | 東南アジア （千円） | 計 （千円） | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 8,074,050 | 2,412,431 | 10,486,481 | 118,706 | 10,605,187 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 245,395 | 222,542 | 467,938 | — | 467,938 |
| 計 | 8,319,446 | 2,634,973 | 10,954,419 | 118,706 | 11,073,126 |
| セグメント利益又は損失（△） | 1,284,516 | △6,245 | 1,278,271 | 6,351 | 1,284,622 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内訳（差異調整に関する事項）

| 利 益 | 金 額 （千円） |
|-----------------|-------------|
| 報告セグメント計 | 1,278,271 |
| 「その他」の区分の利益 | 6,351 |
| セグメント間取引消去 | 51,016 |
| その他の調整額 | △452 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,335,186 |

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの名称の変更について）

当社は前第3四半期連結累計期間より東南アジアで事業を展開するFumakilla Asia Sdn. Bhd.（旧 Technopia Sdn. Bhd.）及びPT Technopia Jakartaが連結子会社となったことから、従来までの「日本」、「インドネシア」から「日本」、「東南アジア」に報告セグメントの名称を変更しております。これにより、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

(4) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 販売実績

(千円)

| 事業区分 | 前第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日 | |
|------|--|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 7,155,102 | 83.7 |
| 家庭用品 | △65,285 | △0.8 |
| 園芸用品 | 692,943 | 8.1 |
| 防疫剤 | 400,694 | 4.7 |
| その他 | 366,114 | 4.3 |
| 合計 | 8,549,568 | 100.0 |

| 事業区分 | 当第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日 | |
|------|--|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 8,780,131 | 82.8 |
| 家庭用品 | 212,013 | 2.0 |
| 園芸用品 | 833,195 | 7.9 |
| 防疫剤 | 407,619 | 3.8 |
| その他 | 372,227 | 3.5 |
| 合計 | 10,605,187 | 100.0 |

| 事業区分 | 前連結会計年度 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日 | |
|------|-------------------------------------|----------|
| | 金額 | 構成比 % |
| 殺虫剤 | 16,098,771 | 71.4 |
| 家庭用品 | 1,674,874 | 7.4 |
| 園芸用品 | 1,772,224 | 7.9 |
| 防疫剤 | 1,435,905 | 6.3 |
| その他 | 1,574,633 | 7.0 |
| 合計 | 22,556,409 | 100.0 |

(注) 金額は純売上高(消費税等抜き)によっております。

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

| | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-----------|---------|-----------|
| I 海外売上高（千円） | 1,042,070 | 202,393 | 1,244,463 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | 8,549,568 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 12.2 | 2.4 | 14.6 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド
 (2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
 3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

| | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高（千円） | 2,515,868 | 230,880 | 2,746,748 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | 10,605,187 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 23.7 | 2.2 | 25.9 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド、ベトナム、ミャンマー
 (2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
 3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。